

*** 国賠ネット大賞・最悪賞の選考 ***

「国賠ネットワーク大賞・最悪賞」とは、この1年で人権に大きく貢献した人やモノに＜大賞＞を、逆に酷いことをした人やモノに＜最悪賞＞を、集会参加者によって選考して贈呈しようというイベントである。

ネットワーク大賞の候補として名前が挙がったのは、桜井昌司、山田いく子、青木恵子、大田晃詳の各氏。桜井さん、青木さんはもちろん国賠ネットの仲間であり、他の冤罪事件に駆けつけて応援するなど、2人とも過去にネット大賞を受賞している。

山田いく子さんは、秋田で戦時中に起きた「花岡鉦山蜂起事件」などの取材・告発をした野添憲治の娘さん。野添憲治さんの亡き後、お父上が終生にわたる活動で残した民衆の活動記録と膨大な資料を保存し、公開できるように資料館やデジタル化を進めている。

太田晃詳氏は大阪高裁判事。先頃の旧優生保護法下での強制不妊の被害者の国賠において20年の除斥期間の垣根を取り払い賠償を認める判決を書いた。

国賠ネット大賞の候補4人は、参加者の2回挙手による採決の結果、なんと全員同数。そこで再度の決戦投票の結果、4割近い票を集めた山田いく子さんに決定した。

国賠ネット最悪賞の候補者は3組織・人。

まず滋賀県警。湖東病院事件の冤罪で再審無罪を勝ち取り、国賠を提起した西山さんに対して、「警察の捜査には違法性はなく、西山さんが犯人・・・」と裁判所に提出した書面でとんでもない主張をした。

次は現法務大臣。森友問題で決裁文書を改竄・捏造させられ追いつめられて自死した近畿財務局職員・赤木さんの奥さんが起こした国賠訴訟に対し、真相を葬るために「請求の認諾」、すなわち原告の請求を全部認めるといふ、制度を逆手にとるやり方により裁判を打ち切った。

最後の候補者は、大阪府警の坂本信行元刑事。青木恵子さんの取り調べであらゆる手を使ってウソの自白をさせ、再審で自白供述が完全に否定されたあとも、国賠の法廷でもウソの証言を続けた。

最悪賞の採決は6割を超える人の挙手で、坂本信行元刑事と決定された。